

# 大会宣言

急激に社会が変化し、家族の団らんや親子の会話が不足しがちになり、親と子の間で、家庭や地域の中で、ごく自然に行われてきた温かいかわりが、現代社会では少なくなっているといわれています。

ゲームやインターネット、スマートフォン等の普及が進むにつれ、本に親しむ機会も少なくなりました。

でも、私たち子ども司書は、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんの昔話や読み聞かせが大好きです。絵本も本も大好きになりました。

読み始めると、ワクワクしながらあっという間に本の不思議でおもしろい世界に引き込まれてしまいます。

子ども司書となってますます読書の楽しみを感じるようになりました。幼稚園などで読み聞かせを行うと、小さな子どもたちも興味津々で目をキラキラさせています。絵本が無限に広がる想像の世界の入り口となり、聞いている小さな子どもにとっても読み聞かせをしている私にとっても心が豊かになるのだと思います。

本は私たちの好奇心を刺激し、知の世界を広げ、生きる知恵や感性という豊かな心を育んでくれています。

「家読」として、家族と一緒に読書し、あれこれ話し合ったりすることをもって楽しい時間となっています。読書に取り組む人が少なくなっていると聞きましたが、私たち子どもも大人のお父さんやお母さんも本当は本が大好きなのだと思います。だから、私たち子ども司書も積極的に読書活動を進めるために行動していきます。

読書という素敵な時間を取り戻し、心豊かな人生を送ることができるよう、家庭、地域の大人たち、学校や公民館そして子どもたちと連携し、読書活動の活性化に広く貢献することをここに宣言します。

令和元年9月7日

福島子どもの読書活動推進フォーラム